

採択された日本医療研究開発機構(AMED)中央 IRB 促進事業 「臨床研究プロフェッショナル育成プログラムの作成」について

琉球大学大学院医学研究科 臨床薬理学・臨床研究教育管理理学講座

琉球大学病院 臨床研究教育管理センター

植田真一郎

1. 臨床研究とは何？

個々の患者さんの治療の決定をするには、根拠を持って行うことが求められ (EBM)、その根拠の形成に大きく関わるのが臨床研究です。医療には未解決の問題はたくさんあり、解決するには実験室での基礎的な研究だけではなく、医師をはじめとする医療従事者によるこの「臨床研究」が必須です。診療における疑問を研究の形にしてそれを解決するスキルが必要とされます。社会問題としても注目された高血圧症治療薬の研究不正問題で明らかになったことの一つは、医師は臨床医としてのトレーニングは受けてきたが、臨床研究のための教育は十分ではなかったことでした。

2. これまでの琉球大学の取り組み

2007 年の文部科学省医療人 GP をスタートに、公的支援を受けながら臨床研究の教育基盤の強化に力を入れてきました。各事業は数年で終了しますが、終了後も教育活動を継続し、育成する人材のレベルアップに努めてきました(図 1)。今回の事業はこれまでの各事業で蓄積した経験とノウハウを活かし、さらに今求められている「高度な臨床研究を行える人材」を育成することを目的にしています。また従来通り、臨床研究の初学者から様々なレベルの研究者を対象としたプログラムも継続していきます。

